

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	6月 21日(木)
コーポラティブ住宅部会	6月 20日(水)
団地・マンション再生部会	未定
福祉部会	未定
総務部会	6月 12日(火)
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆進行中のプロジェクトニュース☆

・奥澤コーポラティブハウス

引き続き参加者(入居希望者)の募集を行っています。どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

・九段南コーポラティブハウスⅡ

前ページ参照。  
参加者募集中。千代田区内でお住まいをお探しの方がおりましたら、事務局までご連絡ください。

・第1回まちづくり法人国土交通大臣表彰

「特別賞」を受賞しました。  
国土交通省でまちづくり月間事業の一環で今年度より「まちづくり法人表彰」が創設されました。応募しましたところ、大賞には届きませんでした。が、「特別賞」を受賞することができました。としまち研のこれまでの取り組みを大きく評価していただいたものととても嬉しく、また励みになります。

国土交通省のホームページ  
([http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05\\_hh\\_000064.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000064.html))  
で発表されていますので、ぜひご覧ください。

・祝 喜寿

としまち研監事の大槻先生が今年喜寿を迎えられ、としまち研理事会でお祝いしました。



としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。  
○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。  
というような難しいご相談も検討します。  
お気軽にご相談ください。

編集後記

急に夏を感じる毎日になりましたね。異常気象なのでしょうか。天気予報では竜巻や雷、大雨の注意喚起が毎日のように出るようになりました。

東松島市への支援に事務局3名、誰も現地へ行けずにいるのですが、決して東京でさぼっているわけはありません。理事長不在の日が多く、落ち着かない毎日ですが…。東京での基盤があってこそこのとしまち研だと思い、日々の業務を丁寧に熱意をもって対応しています。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ <http://www.tmk-web.com/>  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員58人 賛助会員30人  
編集発行人 比護彰彦  
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第57号

おいらのまち

2012.5

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

被災地の意向確認から住む人みんなで考える集団移転へ

としまち研東日本復興支援委員会は、3月に東松島市から業務委託を受けて、4月から6月まで、2月~3月に実施された集団移転に関する意向確認の会場にみえなかった被災者の方々の個別面談を行っています。

この業務に、既に延べ200名余(4~5名/日)のとしまち研会員の皆さんが参加し、慣れないシェアハウス風の暮らし(宿泊のため、本塩釜で借りているマンションの共同生活)のなかで頑張っていた



個別面談の様子

被災者との個別面談では、津波防災区域に指定された地区から集団移転で市の造成する宅地に移転して自分で住宅を建築するか、災害公営住宅に入居を希望するか、それとも集団移転先とは別のところに移転するか、などの意向を伺います。家族5人のうち4人を津波で亡くされた方、ほんの数分の違いで逃げることができた方、津波が家のなかの天井近くまで来たが一晩耐えて助かった方、自宅の2階から屋根に逃げたところ津波の第一波の引き波でもうだめかと覚悟したが第二波で押し戻され助かった方…、それぞれが生死の境目に立ち、1年以上経った今も心の傷が癒えていません。今は決められない、という方もおられます。

一方、仮設住宅は、“応急”仮設住宅であり、被災者の皆さんは一日も早い恒久住宅への移転を望んでいます。しかし、住宅地の造成には3年から5年かかるといわれており、まだまだ時間がかかりますし、具体的な情報が少ないので、なかなか先の展望がもてない状況にあります。

としまち研は、共同建替え+コーポラティブ方式などの息の長い事業に、地権者や住む人たちと共に取り組んできた経験を生かし、被災者に寄り添って新しい住まいとまちづくりのお手伝いをしていきたいと考えています。そして、被災者の皆さんが、“少し時間はかかるけど、がんばろう”と思えるような活動を提案していこうと考えています。

そのためのひとつの手段として、この『おいらのまち』のような被災者の皆さんが知りたい情報が掲載された(仮)「まちづくり通信」をお届けできるような活動を展開していきたいと思います。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員による、リレー形式のエッセイです。

『応急救護のご確認を』 としまち研 佐藤しおり

災害時の病院では瀕死の患者を運びこんでも助けてはもらえないという。殺到した人々に電気ショック等行う余裕がないため、普通なら処置が施される心肺停止、呼吸停止も死亡とみなされるからだ。

この話は、本塩釜に移る前、自動車教習を受けていたときに応急救護の授業でこの春から看護師になるという女の子から聞いた。彼女は「地震のとき、家族をやっとの思いで病院に運んだとしても、病院に来るまえに生きかえらせないと処置されないかもしれない。もっと人工呼吸や心肺蘇生法を覚えてほしい。」「災害のとき『病院は何もしてくれなかった』と非難されることがある。でも仕方ないことだと思う。それよりも1人1人ができることをするだけで助かる人は増えるし、そういうことが大事。」と話していた。みなさま、もしものときのため応急救護の方法をもういちど確認してみてください。

※次号の「ひとりごと」は濱田政和さんです。お楽しみに。

一木会ご報告 (原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です)

★第200回一木会 (2012. 4. 5)

(有)アーバンセクション代表取締役の二瓶正史さんに「住宅地設計とまちづくり」というテーマでお話を伺いました。

普通の住宅地開発とは違い、コミュニティ形成に寄与できる住宅地のデザインをされた豊富な実績のなかから多くの事例をご紹介いただき、防災集団移転事業に少しでも反映できればいいな、と夢がふくらみました。



★第201回一木会 (2012. 5. 10)

北海道大学の森傑先生に、東日本大震災後の宮城県気仙沼市小泉地区での地域住民が主体となった集団移転計画ができたお話や奥尻のこと(これは「奥尻のそのときと現在から学ぶ」でネット検索してください)、仙台の荒浜などの動き...ととても力になるお話をいただきました。

今後とも教えていただきながら、東松島市の復興支援をがんばりたいものです。



今後の一木会予定

★6月(6月7日)【第202回一木会】★

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授・工学博士の小泉秀樹さん

『東日本大震災、本格復興にむけた課題』

★7月(7月5日)【第203回一木会】

株式会社現代計画研究所 取締役の濱藤哲仁さん 『(仮題)住民参加の住まい・まちづくり』

としまち研 第12回総会開催報告

5月24日(木)18時30分からCOMS HOUSE 2階会議室で第12回通常総会が開催されました。

総会には正会員30名、賛助会員2名の計32名が参加しました。

田代理事による司会進行のもと、島田理事の開会あいさつ、事務局より総会成立の報告と新会員の紹介、杉山理事長のあいさつが行われました。

そして、宮本理事が議長に選出され、議案審議が行われ、すべての議案が満場一致で承認されました。



理事長あいさつ

今年度も東日本大震災の復興支援の活動に重点を置く活動方針が決定され、としまち研のこれまでの経験と実績を活かして東松島市の集団移転等の支援活動の本格化を目指します。

短い時間でしたが、充実した活動報告および活動計画の説明に士気が高まってきたところで、平野理事の閉会あいさつがあり、総会は締めくくりとなりました。

その後、会場を神田駅北口近くの「寿々屋(すずや)」に移し、懇親会が行われました。



総会の最後に前方から撮影

驚くほどに種類が豊富で、ボリューム満点、そして親しみのある味で定評のあるおかず(肴)とお酒を楽しみました。恒例の1分間スピーチは、市野理事の進行により、皆さん簡潔にテンポよく行われ、和やかな会となりました。

(としまち研事務局 関真弓)



テーブルは食べきれないほどの料理が...

こはす管理組合設立総会&入居パーティ

2月4日(土)に入居を開始した「こはす」では、引っ越しの落ち着いた4月15日(日)に管理組合の設立総会が行われました。設立総会では、規約や使用細則、植栽部会の活動方針の確認などが行われ設立総会終了後、懇親会(入居パーティ)がとしまち研会議室で行われました。



1軒目のお宅にお邪魔しています

1階の店舗にテナントとして入られた方や入居者が決まっていなかった702号室に入居予定となった方も加わり、和気あいあいと懇親を深めることができました。

その後大勢の方が、1軒目のお宅、そして2軒目、さらには3軒目のお宅とお邪魔し、心ゆくまで懇親を深めました。いかにも神田のかしこまらないざっくばらんな、それでいてそれぞれのお宅に長居をせずに気を使う(つつもり)ところなどこれからのお付き合いの基本がすでにしっかり確立されているようでした。こうした良い新たなメンバーに恵まれ、東松下町での生活がより楽しくなりそうです。(としまち研理事・東松下町副町会長 葛西充)



感謝状贈呈の様子

九段南コーポラティブハウスⅡ建設組合設立

去る5月20日(日)に開催された九段南コーポラティブハウスⅡ建設組合設立準備会に引き続き、5月27日(日)に建設組合設立総会が開催されました。

20日の準備会で、時間をかけて契約関係の検討をしたこともあり、設立総会当日は、特に問題もなく議事は進行、組合契約書への署名・捺印を終え、理事3名や各種委員会の委員長も決まり、無事に組合がスタートしました。



大所帯の組合です



懇親会スタートです

総会終了後は懇親会を開催。皆さんご家族連れで参加されたこともあり、子どもさんたちの元気な声とともに、立食形式でアルコールとオードブルを囲みました。

初めての1分間スピーチでは大人は全員参加し、家族のこと、仕事のこと、住まいのこと、皆さんそれぞれの話が新鮮でした(いずれ子どもさんたちにも自己紹介をお願いできるといいですね)。

各住戸のインフィル設計者も決まり、これから住戸内設計が始まります。組合員の皆さんがどんな住まいをつくれるかとても楽しみです。

(としまち研事務局 飛澤玲奈)

【募集コーナー】

としまち研HPのデザイナーさんを募集しています

昨年より、としまち研ホームページの内容について部会ごとの見直しを進めていますが、このたび、ホームページのデザインの一新を図ろうということになり、webデザイナーさんを探しています。

詳細はご相談となりますが、HPのデザインをしてくださる方、デザイナーさんをご存じの方がおられましたら、ぜひ事務局までご紹介ください。(としまち研事務局)

としまち研臨時職員の募集

ご存知の方も多いと思いますが、事務局員の五十嵐敦子さんが平成24年9月から約1年間産休・育休を取ることになりました。

つきましては、としまち研の臨時事務職員を募集します。皆さまのお知り合いなどに適当な方がおいでになりましたら、ぜひご紹介ください。雇用条件等の詳細につきましては、「委細面談」とさせていただきます。

なお、得意分野によっては長期雇用の可能性もありますので、ご相談ください。(としまち研理事会)